

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	望月城跡でのツリークライミング競技会開催誘致への取り組みと環境整備
事業主体 (連絡先)	NPO法人望月まちづくり研究会 (佐久市望月106-6 電話0267-53-2110 理事長 竹内健治)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	990,262円(うち支援金742,000円)

### 事業内容

- ツリークライミング体験会の実施  
望月城跡からのクライミング景観は素晴らしく、参加者は城跡の散策や歴史にも触れることができた。
  - ・時期 第一回7月19日参加6名  
第二回8月23日参加10名  
第三回9月20日参加12名  
予備日11月15日参加3名
  - ・募集予定人数 36名 参加者計31名
- 城跡の整備及び樹木整備  
ツリークライミング対象木の数5本、それぞれの樹木形状の違いや景観の違いを体験できより魅力的な環境となる。また、対象木をその都度変える事は、樹の保護にもなる。
- 専門知識や技術を持った者(特殊伐採業者)が剪定、枯れ枝処理、伐採、周辺整備を伴い、ツリークライミングのみを優先せず、城跡の自然環境全体に配慮し安全に整備できた。



【伐採作業風景】

### 事業効果

- 体験会参加者は多彩であり、体系に合わせた対応に備え装備品を購入できたことで、より安全な体制が整った。  
25年度 10人 26年度32人 27年度31人  
(親子参加5組、リピーター3名)
- 今後クライミング対象木を増やしていく毎に、里山として安全な場を確保できると共に木の負担軽減と保全になる。また広範囲に城跡散策もできることで、山城の形状確認もでき、特有な立地として競技会誘致につながる。
- 高木、巨木の剪定に必要な特殊伐採備品の購入で安全に作業を進めることができた。
- 少年自然の家との連携で事業計画以外の体験会があり7回で57名のクライミング体験の機会があった。

### 今後の取り組み

- ・学校行事との兼ね合いで、参加者確保に、影響があった。親子参加も見込み、今後摺合せが必要になる。
- ・少年自然の家との連携で体験会の機会が増える見込み。
- ・特殊伐採の技術講習等にも活用し、やがて競技会に繋げる。
- ・城跡の存在価値を資源として地域の意識高揚に繋げる。

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

### 【目標・ねらい】

- ① 体験会の安全な運営
- ② 体験会にむけた環境整備と城跡の存在価値を高める活用
- ③ 里山として整備と安全確保
- ④ 地域づくりの取り組みとして活動や交流の機会を増やし、地域の意識改革や活性を即す。

### ※自己評価【A】

【理由】十数年にわたり地域づくりの一環として城跡整備に取り組んできた。昨年からのツリークライミング事業に取り組む事で、里山の安全と整備を兼ねる活動を重ね地域にも認知されてきた。他地区から体験会の依頼や、伐採の問い合わせもあり、活動の持続と活性が見込める。